

青年研修 「モンゴル／広域消防・救急救命」

対象国：モンゴル

受入人数：12名

受入期間：2019年8月20日～2019年9月7日



日本の約4倍の国土面積を持つモンゴル国。モンゴル地方部に位置する11州から12名の研修員が来日しました。

モンゴル地方部では自然災害（森林ステップ火災、洪水、地震、雪害等）が多く発生する中、限られた人員で広大な管轄エリアの消防・救急救命活動を行う必要があり、広域的な消防・救急救命体制の構築と改善に係る能力の強化が喫緊の課題となっています。

平成28年に十勝地方が広域化され、日本で最も広い所管面積を管理する「とかち広域消防局」について、その特徴や体制などについて講義や見学を通して効率的且つ効果的な消防・救急救命について学びました。

広域化による人員配備の効率化や消防体制の基盤強化について知見を広めた研修員の姿からモンゴルでの消防・救命活動に一層尽力していく力強さが感じられた研修となりました。



帯広消防署の車両や資器材を見学しました。



JICA北海道センター(帯広)の防災訓練に参加し、訓練用の消火器を使った消火訓練を体験しました。



日本の応急救護講習について、研修員自ら体験し、普及することの大切さを学びました。



警防審査会(競技形式の火災防ぎょ訓練)を見学しました。